

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

【コスト面】

1. 中長期的に医療費低減に寄与できる保健事業拡大を計画的に実施する。
2. 事業内容等を見直し、外注化等により効率化を図る。
3. 投資対効果を検証しつつ、将来的には世間相場並みの保健事業となるよう事業拡大を図る。

【中期構想を含む事業増強】

1. 第3期特定健診・保健指導の目標完遂を目指し、重点的に事業費を増額する。
2. 若年層（40歳未満）のヘルスリテラシー向上策として節目年齢での人間ドック無償化を実施する。
3. 健康経営を通じた事業所コラボを推進する。
4. FY18では健診代行を導入し、その後健康ポータルサイトの導入を計画する。
5. 医療費適正化活動を引き続き強化する。
6. 計画的に設備更新、改修を実施する。

事業全体の目標

【コスト面】

世間相場並みの保健事業費とし投資対効果の高い保健事業を行う。

【事業の増強】

1. 特定健診受診率90%・保健指導実施率55%を6か年計画で完遂する。
2. 33歳の人間ドック（被保険者・被扶養者）の無償化
3. 健保として健康経営に積極的に取り組む
4. 既存の健診制度を代行業者へ委託する。またICTを用いた健康づくり応援ツールを導入する。
5. 医療費適正化に寄与する事業は継続する。
6. 診療所・直営健診センター・本部事業所・保養所施設ともに計画的な設備更新・改修を実施する。

事業の一覧

職場環境の整備

保健指導宣伝	共同システム
疾病予防	事業所けんこうレポート
疾病予防	事業所コラボ活動
疾病予防	健康経営支援活動
疾病予防	禁煙活動（1）遠隔禁煙外来
疾病予防	禁煙活動（2）ノンスモ
予算措置なし	事業主の会議体への参加
予算措置なし	予防接種の実施

加入者への意識づけ

特定健康診査事業	健診結果の自宅送付（けんこう宅配便）
保健指導宣伝	健康ポータル（pep up）の利用促進
保健指導宣伝	健康作りインセンティブ制度
保健指導宣伝	健保の情報提供
保健指導宣伝	機関誌発行（けんぼニュース）
保健指導宣伝	前期高齢者の健康作り支援（健康かわら版）
疾病予防	柔整適正化活動
疾病予防	不適切な受診者へ照会案内送付
疾病予防	健康づくり教室（ふれあい健康事業推進協議会）
予算措置なし	退職に伴うセミナー

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定健康診査事業	家族の未健診者フォロー（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被保険者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被扶養者）
特定保健指導事業	健診時同時初回面談の推進（特定保健指導）
特定保健指導事業	保健指導（糖尿病重症化予防）（小）
特定保健指導事業	講演会やセミナー開催
保健指導宣伝	育児支援
保健指導宣伝	データヘルス計画推進システムの構築
疾病予防	医療費削減プロジェクト_前期高齢者対策
疾病予防	保健指導（糖尿病重症化防止活動_診療所）
疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防	在宅時健診（39歳時）
疾病予防	ドック健診
疾病予防	がん検診（職場）
疾病予防	33歳人間ドックの無料化
疾病予防	■33歳人間ドック後の保健指導
疾病予防	がんリスク検査（アミノインデックス）
疾病予防	ピロリ菌除菌率
疾病予防	がん精検受診率
疾病予防	歯科健診の促進
疾病予防	シニア体力測定
疾病予防	電話相談（健康相談&メンタル相談）
疾病予防	メンタルヘルス支援
疾病予防	ジェネリックの利用促進
疾病予防	健康相談（クリンタル）
疾病予防	ポリファーマシー対策
疾病予防	重症化予防（入院・再発の未然防止）
疾病予防	ライフイベント支援活動
疾病予防	若年層の健康増進活動
疾病予防	データの有効活用
疾病予防	セルフメディケーションの推進
体育奨励	健康作り支援（スポーツジム契約）
体育奨励	オンラインジム
直営保養所	福利厚生（直営保養所・外部リゾート施設契約）

その他	安心して治療に専念できる環境づくり（付加給付の充実）
予算措置なし	利用者の満足度向上（3事業）
予算措置なし	医療費貢献ポイント（保健事業活動の効果検証）

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者			注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢											対象者
アウトプット指標													アウトカム指標				
保健指導宣伝	1	既存	共同システム	全て	男女	18～75	基準該当者	1	イ,カ,ク,シ	健診データは、随時取り込みを行い、月次締めで抽出する。国への報告は年次処理。	エ	診療所・関連企業・家族の健診データを取り込むため、分担して入力している	外部委託しない	2,600	システムの導入により健診結果の階層化および特定保健指導の判定が容易になるうえレセプト管理システムとの連携で他健保情報も入手できる	【目標】健診後に結果のお知らせ（PepUp閲覧、けんこう宅配便）発行までをスピーディーに行うために、健診データの取り込みと抽出を計画通り行い保健指導までつなげていく。	健康経営の支援
	健診結果の抽出(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：10回)データ取り込みと掃き出しは計画通り行う。													-			
疾病予防	1	既存	事業所けんこうレポート	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	イ,ケ,シ	事業所担当者へ送付しレポートからの健康課題を理解してもらう	ア,イ	各事業所の保健事業担当者が窓口だが、健康課題を解決できるステークホルダーに共有(活用)してもらう体制作りが必要	株式会社JMDC	1,000	【目的】事業所ごとの健康課題を理解してもらう 【概要】事業所の健康管理課や総務&人事(保健事業担当者)に健診結果や医療費分析に見える化した事業所レポートを用いて現状把握や今後の課題を示し将来的には健康経営に導く(活用実績あり)。令和1年から健康経営を推進し、レポートを用いて課題解決の方策へ繋げる。今年度は、利用者アンケートを実施し、活用状況を調査し、プログラム改修など対応する。	事業所の健康課題の解決に利用していただくよう、健康経営を含めた支援ツールとして活用してもらう	健康経営の支援
	レポートを活用している事業所数(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：25件)活用している事業所にアンケートを実施し活用状況を調査する。													優良認定企業所属者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：90%)優良認定を受けた企業に属する人が健保全体の何パーセントか？ BP：90%、TH：75%			
1	既存	事業所コラボ活動	全て	男女	0～(上限なし)	その他		3	エ,オ,ク,ケ,シ	①日産は各診療所が母体企業と連携し年度計画を持って計画及び対象者選定し実施する ②関連企業はコラボ企画書の計画・立案をサポートし効果検証までを必須とする	ア,イ,ウ,コ	①診療所・主管理部署と活動内容について話し合い、連携しながら活動を計画・実施する ②関連企業は健保事業部よりコラボ企画書の提出を促し費用補助を行う。	SOMPOヘルスサポート株式会社、RIZ AP株式会社	9,000	【目的】事業所と協働で健康づくり活動をすることで、より効果の高い保健事業を行う 【概要】①毎月診療所と事業所主幹部署との話し合いの場を設け活動の計画や評価を行う。 ②各事業所の健康づくり担当者に企画のサポートを行い効果的なイベント策定を狙う	【目標】①各診療所全体での健康活動実施率 ②コラボ活動事業所数(予算内計画実施率)	健康経営の支援
日産診療所の健康イベント計画数(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：123件)①目標値は計画回数													-				
コラボ参画事業所数(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：20件)②コラボ参画事業所数(予算内計画実施率)：計画事業所数(FY22実績)													-				
1	既存	健康経営支援活動	一部の事業所	男女	0～(上限なし)	その他		3	シ	健康経営について意識確認し、調査票の作成をサポートする専門業者を健保予算で担う	ア	事業所のステークホルダーが健康経営の必要性を認識し、活動はトップダウンで実施することが必須	登録されていない事業者に委託する	9,000	【目的】健康経営という概念を理解して会社が従業員の健康をサポートする体制を整える 【概要】企業に健康経営宣言を促すために健保が健康経営の参画についてサポートし、健康経営申請は、申請に必要なノウハウを支援する専門業者を派遣する。	【目標】健康経営申請書提出企業数 BP:25事業所 TH:20事業所	健康経営の支援
健康経営申請書の提出企業数(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：25社)健康経営申請書提出企業数 BP:25事業所 TH:20事業所													優良認定企業所属者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：90%)優良認定を受けた企業に属する人が健保全体の何パーセントか？ BP：90%、TH：75%				
5	既存	禁煙活動(1)遠隔禁煙外来	全て	男女	20～(上限なし)	基準該当者		2	ケ,シ	本人負担額は5,000円。専用アプリより申込を行い自分の好きな時間にオンライン診療(4回)を受ける。薬については、本人指定の送付先に発送。最終診療後10か月(4回)フォロー連絡あり。	ア,イ,ウ	プログラムの外注しているが費用補助は健保。周知等は診療所や事業所に協力いただき実施している。	株式会社リンケージ	2,000	【目的】喫煙率を削減し健康へのリスクを低減する活動を行う 【概要】目標設定し活動を進める。また事業所単位でも目標設定し競争意識を持たせる(関連/本人)	喫煙率 ①日産本人 BP:25.8% TH:26.8% ②関連本人 BP:31.0% TH:32.0% ③家族 BP: 5.3% TH: 6.3%	健康経営の支援
喫煙率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：25.8%)①日産本人 BP:25.8% TH:26.8%													-				
喫煙率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：31.0%)②関連本人 BP:31.0% TH:32.0%													-				
喫煙率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：5.3%)③家族 BP: 5.3% TH: 6.3%													-				
5	既存	禁煙活動(2)ノンスモ	全て	男女	20～(上限なし)	被保険者		1	エ,ケ,シ	本人負担額は0円。QRコードから簡単にアクセスでき、申し込みをすると禁煙ガムが自宅に届き、チャットによる禁煙サポートが6か月間届く。	ア,イ	健保の会議体で紹介し、事業所の協力や活動の周知を行う。また利用者へはICT(PepUp)で申し込み期間など告知する。	株式会社リンケージ	6,000	【目的】喫煙率を下げ健康へのリスクを低減する活動を行う 【概要】計画的に禁煙日を設け、禁煙を体験することで成功体験を重ね完全禁煙へのステップとして利用してもらう。	禁煙活動実施率:年2回実施	健康経営の支援
禁煙活動実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：100%)年2回実施													喫煙率(【実績値】 33.4% 【目標値】 令和5年度：25.0%)前年実績以下(前年実績25・0)				
禁煙成功率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：21.8%)プログラム終了一か月後にヒヤリングし、それまで禁煙が続いていた割合													-				
減煙成功率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：60%)プログラム参加後、減煙ができていくか一か月後にヒヤリングして得た割合													-				
アンケート回収率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：48.4%)プログラム終了後1か月でのアンケート回収率													-				

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者			注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢											対象者
アウトプット指標													アウトカム指標				
予算措置なし	1	既存	事業主の会議体への参加	全て	男女	18～65	被保険者	3	ケ、シ	①健康経営推進会議 ②健康経営企画会議 ③統括産業医と日産健康管理部定例会議 ④産業医会議（日産健康管理部・健保事務局） ⑤随時会議 ⑥関連会社人事役員会議 ⑦事業所担当者 情報交換会	ア、イ、ウ	定例会ではメンバー登録、不定期会には情報を入手する必要がある	外部委託しない	0	①健康経営推進会議 ②健康経営企画会議 ③統括産業医と日産健康管理部定例会議 ④産業医会議（日産健康管理部・健保事務局） ⑤随時会議 ⑥関連会社人事役員会議 ⑦事業所担当者 情報交換会 ①～④ 1回/月 ⑤随時 目的共有・報告の場を設け健康経営に向けた活動を円滑に行えるようにする。	組合員の健康づくりを協働して行うための協力を求めたい。定期会議には参加し、事業への理解を深めたい。	効果的な保健事業
	定例会への参加(【実績値】12回 【目標値】令和5年度：12回)①～④は定例会に健保職員が毎月参加する。												なし (アウトカムは設定されていません)				
	会議体への参加(【実績値】1回 【目標値】令和5年度：1回)⑥は課題を提出し、理解または協力を仰ぐ。												-				
	事業所担当者との情報交換会(【実績値】1回 【目標値】令和5年度：2回)⑦は事業所安全管理室や健康管理室の保健師などで事業所は違うが共通の課題を共有し情報交換する												-				
1,3	新規	実施	予防接種の実施	母体企業	男女	18～(上限なし)	被保険者,その他	3	ケ	インフルエンザ予防接種は希望者のみ診療所で接種できる	ア、イ、コ	診療所ごとに実施	外部委託しない	-	1回/年	1回/年	質の高いサービス
実施計画(【実績値】1回 【目標値】令和5年度：1回)各診療所で計画実施率100%												なし (アウトカムは設定されていません)					
加入者への意識づけ																	
特定健康診査事業	2,4,5	既存	健診結果の自宅送付(けんこう宅配便)	全て	男女	40～74	基準該当者	1	ア、エ、オ	健診実施者へ3か年の健診結果をグラフ化し、健康年齢表示などの情報提供を自宅へ送付。(PepUp登録者を除く)内製で作成している。	ス	40歳以上、特定健診の結果をもとに共同システムから健診データを出力し、データ加工したうえで、配送は外注化している。	株式会社JMDC	5,000	【目的】生活習慣改善への動機づけを図る。健康年齢と実年齢との差を表示することで、健康行動変容へつなげる。 【概要】健診実施者へ3か年の健診結果をグラフ化し、自宅へ送付。(PepUp登録者を除く)	発行回数 2回/年	健康経営の支援
	送付回数(【実績値】13回 【目標値】令和5年度：2回)2回/年												健康年齢若さ率(【実績値】- 【目標値】令和5年度：69%)JMDCの健康年齢において、実年齢より健康年齢が若い人の割合を示す。				
保健指導宣伝	2,5	既存	健康ポータル(pep up)の利用促進	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者,被扶養者,任意継続者	3	ア、エ、ケ、シ	Pep内でイベントを開催し利用率を図る。年間計画しているイベントへの参加率を測定する。	ア	年間計画や告知を工夫し事業所への協力を促進する	株式会社JMDC	10,000	【目的】健康意識を高め、インセンティブを付与し、継続した健康活動へつなげる。 【概要】ICTの活用により健保からの情報提供も容易に行える仕組みの基盤づくりとする。母体企業は診療所、関連企業は事業所担当者の協力を促進する。	【目標】登録率：毎月事業所ごとの比較グラフを用いて事業所展開を行う。 参加率：イベント(年間5回)の参加率を測定する。日産本人38.0%以上、関係会社本人 25.0%以上、家族 23%以上	効果的な保健事業
	参加率(【実績値】- 【目標値】令和5年度：38%)日産本人 参加率 BP:38.0%、TH:27.0%												-				
	参加率(【実績値】- 【目標値】令和5年度：25%)関係会社本人 参加率 BP:25.0%、TH:18.0%												-				
	参加率(【実績値】- 【目標値】令和5年度：23%)家族 参加率 BP:23.0%、TH:16.0%												-				
2,3,4,5	既存	健康作りインセンティブ制度	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者,被扶養者,任意継続者	1	ア、エ、シ	内製で作成している。 ①1年間医療費が0のもの②健康年齢改善③健診結果改善④非喫煙者⑤人間ドッグ、歯科検診受診⑥スポーツジム利用⑦保養所利用⑧Pepイベント参加⑨事業所単位健康づくり活動への付与	ア	PepUp利用者は活動実績をインセンティブに変換できる。	外部委託しない	290,150	【目的】生活習慣改善への意識向上 【概要】PepUpを用いてインセンティブを付与する。 ①1年間医療費が0のもの②健康年齢改善③健診結果改善④非喫煙者⑤人間ドッグ、歯科検診受診⑥スポーツジム利用⑦保養所利用 ⑧Pepイベント参加⑨事業所単位健康づくり活動への付与	【目標】各担当がタイムリーに集計し、合算pointを付与する。①年間1回、②,③,④健診結果後、⑤受診後集計、⑥,⑦都度利用後、⑧,⑨活動実施後	効果的な保健事業	
ポイント付与計画実施率(【実績値】100% 【目標値】令和5年度：100%)◆毎月発行 12回/年◆												健康年齢若さ率(【実績値】- 【目標値】令和5年度：69.0%)健康年齢若さ率：全体 BP:69.0%、TH:66.0%					
-												健康年齢若さ率(【実績値】- 【目標値】令和5年度：69.0%)健康年齢若さ率：日産本人 BP:69.0%、TH:66.0%					
-												健康年齢若さ率(【実績値】- 【目標値】令和5年度：69.0%)健康年齢若さ率：関係会社本人 BP:69.0%、TH:66.0%					
-												健康年齢若さ率(【実績値】- 【目標値】令和5年度：69.0%)健康年齢若さ率：家族 BP:69.0%、TH:66.0%					
2,5	既存	健保の情報提供	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ス	①メルマガ登録者数管理(委員会として活動) ②社内イントラへの情報提供 ③ホームページの改修	ス	①委員会組織を持って運営する ②協力的体制づくりを行う ③HPの外注化	株式会社 法研	5,150	【目的】タイムリーな情報提供を行いサービス向上と健保活動の認知を深める。 【概要】①メルマガ ②社内イントラへの情報提供 ③HPの外注化	【目的】タイムリーな情報提供を行いサービス向上と健保活動の認知を深める。 【概要】①メルマガ メールマガジン配信をPepUp配信に切り替える。 ②社内イントラへの情報提供 ③HPの外注化	効果的な保健事業	

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者			注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢										
アウトプット指標													アウトカム指標			
メルマガ送付者数(【実績値】 14,000件 【目標値】 令和5年度：14,000件)①メルマガ送付者数													-			
ホームページ閲覧件数/月(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：20,000件)ホームページ閲覧件数 20000/月 (FY21 239801件/年)													-			
ホームページの外注化計画実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：100%)													-			
2	既存	機関誌発行(けんぼニュース)	全て	男女	0~(上限なし)	加入者全員	1	ス	2回/年、PDFで発行。事業所担当者へイントラ掲載のお願いを行う	ア	事業主メールにて事業所担当者へイントラ掲載のお願いと周知を依頼する。加入者にはPepUp(ポータルサイト)にてお知らせをする。ホームページにも掲載	登録されていない事業者に委託する	600	【目的】 健保情報の周知や健診受診(家族健診・がん検診)、医療費適正化に繋げる。 【概要】 健保サービス情報、健康づくり情報、事業紹介、予算決算などを掲載(16P)し、全てWebのみ提供。	【目標】 2回/年発行	効果的な保健事業
ホームページ閲覧件数/月(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：20,000件)ホームページ閲覧件数 前年度実績以上													-			
2,5	既存	前期高齢者の健康作り支援(健康かわら版)*	全て	男女	60~74	基準該当者	1	ス	4回/年 自宅送付 見やすく読みやすい記事づくりで情報提供し、けんぼ情報も織り込む	ス	社会保険に強い業者に業務委託し、けんこう記事を年間計画に基づいて発行し、自宅配布を行う。	株式会社 社会保険研究所	4,400	【目的】 健康作りの情報提供により生活習慣改善への取り組みに繋げる 【概要】 ①健康作り情報や生活習慣改善の取り組みを4回/年を自宅へ送付 対象者65-74の前期高齢者(本人・家族)および、60-64の家族のいる世帯へ1冊 ②診療所・健診ホール・保養所でも読み物として設置	4回/年発行	効果的な保健事業
計画実施率(【実績値】 75% 【目標値】 令和5年度：75%)計画実施率 年間4回発行													-			
2	既存	柔整適正化活動	全て	男女	0~(上限なし)	加入者全員	1	イ,ス	受診状況や保険給付金額の進捗を確認しながら柔整版を利用されている方へ柔整のかかり方について啓発する	ス	委託業者を活用し初検者へのチラシ送付や年度計画に基づく柔整版医療費通知を発行する	登録されていない事業者に委託する	2,500	年度計画に基づき、初検者へのチラシ送付や柔整版医療費通知を発行する。	医療費適正化活動 ①柔整初検者チラシ送付(各月1回) ②柔整版医療費通知の送付_年1回	医療費適正化
柔整医療費適正化活動(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：1回)柔整版医療費通知1回/年													A (アウトカムは設定されていません)			
柔整受療にかかる適正化活動①(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：100%)初回受診時に適正受診チラシを送付(月次で対象者を選定し送付する)活動実施率													-			
2,4	既存	不適切な受診者へ照会案内送付	全て	男女	0~(上限なし)	基準該当者	1	イ,ク	時間外受診者へ啓発用シーラーハガキを送付し注意喚起を行う。改善活動後のレセプト全件数に対する時間外受診レセプト件数の割合の合計の推移について月次報告する。	ス	目標値を定め、月次報告会で進捗の報告を行う。	登録されていない事業者に委託する	1,000	計画的な啓発活動を行うために、レセプト全件数に対する時間外受診者レセプト割合をマイルストーンを引いて月次で設定し、報告会議にて進捗管理を行う。	【目的】 不適切な受診行動を抑制し医療費の適正化を図る 【概要】 時間外受診している患者へR5/9月に啓発用シーラーハガキを送付する 【目標値】 マイルストーン BP:3.1%以下	医療費適正化
計画実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：100%)不適切受診の改善活動(啓発用シーラーハガキの送付【年1回】)(令和5年度：9/29実施)100%/100%													A (アウトカムは設定されていません)			
月次報告(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：11回)月次報告：令和5年度11回/11回 【達成度】100%/100%													-			
計画実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：3.1%)【計画値/実績値】 令和5年度 BP:3.1%/3.5% 【達成度101.6%】													-			
5	新規	健康づくり教室(ふれあい健康事業推進協議会)	全て	男女	0~(上限なし)	加入者全員	1	ス	HPで活動を周知し、健康づくり教育(教室)への参加を啓発する。	エ	ふれあい健康事業推進協議会と契約し、テーマごとに開催されている健康教室への参加を募る。	外部委託しない		ふれあい健康事業推進協議会と契約し、介護支援・女性特有の健康問題などをテーマに開催されている健康教室の参加を募る。全国・年間を通じて活動をしている。 今年度実施しない理由：コロナ禍により活動見送り	参加者数 年間延べ100人	
参加者数(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：100人)全国で開催されているテーマごとの健康教室での参加人数を述べ人数で計算する。													-			
参加者数(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：100人)全国で開催されているテーマごとの健康教室での参加人数を述べ人数で計算する。													(アウトカムは設定されていません)			
1,2,5	既存	退職に伴うセミナー	母体企業	男女	18~(上限なし)	定年退職予定者	2	ス	退職後も健康に留意するよう情報提供を行う	ア	退職セミナーで健保案内を配布する。	外部委託しない	0	【目的】 退職後も健康に留意するよう情報提供を行う 【概要】 退職セミナーで事業主が主体的に作成し、健保で内容確認した健保案内を配布してもらう	1回/退職時	効果的な保健事業
けんぼ案内送付(【実績値】 1回 【目標値】 令和5年度：1回)全事業所で退職時セミナーに健保案内が配布できるよう、母体企業の人事と調整している													-			
けんぼ案内送付(【実績値】 1回 【目標値】 令和5年度：1回)全事業所で退職時セミナーに健保案内が配布できるよう、母体企業の人事と調整している													(アウトカムは設定されていません)			

個別の事業

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者			注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢											対象者
アウトプット指標													アウトカム指標				
特定健康診査事業	3,4	既存(法定)	特定健診(被保険者)	全て	男女	40～74	被保険者	2	イ,エ,オ,カ,ケ,コ,シ	ア,イ,オ,ク,コ	①日産従業員は診療所で医療職含めたスタッフが健診実績を把握しており、事業主との連携体制の構築を行っている ②日産以外は本部(事業部)で管理している	外部委託しない	200	【目的】 特定健診による生活習慣病リスク判断 【概要】 適用条件で分けた目標設定で管理する 全体目標値：BP:80%、TH:77% ①日産/本人 BP:95%、TH:93% ②関連/本人 BP:95%、TH:92% ③家族 BP:50%、TH:46% ※予算計上は健診データのXMLデータ化費用のみ	特定健診受診率80%を目標とする。被扶養者含めた目標値 健診により健康課題の抽出が可能となる	効果的な保健事業	
	未受診者フォロー(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：1回)計画通り健診が行われているか毎月健診率を追う。												-	(アウトカムは設定されていません)			
	データ欠落フォロー(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：100%)健診データをXMLで取り込んだ後、データ欠落など発生した場合は対処する。計画実施率												-				
	計画実施率(【実績値】 96% 【目標値】 令和5年度：95%)①未健診フォローを行う。												-				
	健診実施率(関係会社本人)(【実績値】 96% 【目標値】 令和5年度：95%)②未健診フォローを行う。												-				
	3	既存(法定)	特定健診(被扶養者)	全て	男女	40～74	被扶養者	1	イ	ア	①②代行業者へ委託 ③受診券発行 ④⑤健診結果入手	外部委託しない	96,835	【目的】 特定健診による生活習慣病リスク判断 【概要】 健診代行業者を用いて予約状況を把握し早めのフォローが可能になる BP:50%、TH:46%	特定健診受診率80%を目標とする。被保険者含めた目標値 健診により健診課題の抽出が可能となる	効果的な保健事業	
	未受診者フォロー(【実績値】 1回 【目標値】 令和5年度：4回)未健診者へ通知はがきを送付し健診を促す。または、パート先受診でのデータの提供を促す。												-	(アウトカムは設定されていません)			
データ欠落確認(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：100%)健診データをXMLで取り込んだ後、データ欠落など発生した場合は対処する。計画実施率												-					
健診実施率(家族)(【実績値】 45% 【目標値】 令和5年度：50%)年度目標値 家族 BP:55%、TH:45%												-					
3	既存(法定)	家族の未健診者フォロー(被扶養者)	全て	男女	40～74	被扶養者	1	ス	ア	①家族の家族の健診フォロー(本部) ②長期未受診者フォロー(メディカル):3年以上日産メディカルで受診していない人へ封書で受診勧奨を行う	登録されていない事業者に委託する	8,000	【目的】 家族の健診受診促進を行い健康状況を確認する 【概要】 ①健診案内の自宅送付、パート先受診の強化 ②日産メディカル(直営健診センター)の未受診者フォロー	特定健診受診率80%を目標とする。被保険者含めた目標値 被扶養者の健診受診率はBP:50%、TH:46% 健診により健康課題の抽出が可能となる	効果的な保健事業		
未健診者案内送付(【実績値】 1回 【目標値】 令和5年度：5回)-												-	なし (アウトカムは設定されていません)				
家族の受診率(【実績値】 45% 【目標値】 令和5年度：50%)年度目標値 家族 BP:50%、TH:46%												-					
日産メディカル未受診者フォロー(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：56人)年度目標値 メディカル 前年度実績以下												-					
特定保健指導事業	4	既存	特定保健指導(被保険者)	全て	男女	40～74	被保険者	3	イ,エ,オ,カ,ケ,コ,シ	ア,イ,ウ,コ,シ	①日産は各地区診療所と日産各地区安全健康管理課とで連携し進めている。他地区区合同の看護職会議にて保健指導のスキルアップを図っている。 ②関連会社は、健保本部の事業部が主体で委託先の選定から実施、脱落フォローまで指導する	株式会社JMDC、株式会社フィッツプラス	134,000	【目的】 特定保健指導のみに切り替え実施率の向上を図る 【概要】 保健指導実施率 ①日産/本人 初回面談実施率 BP:69% TH:59% ②関連/本人 初回面談実施率 BP:60% TH:50%	特定保健指導実施率58.4%以上を目標とする。被扶養者含めた目標値 ①日産/本人 初回面談実施率 BP:69% TH:59% ②関連/本人 初回面談実施率 BP:60% TH:50%	効果的な保健事業	
	受診勧奨計画実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：100%)①診療所が主体で行うが実施方法は診療所の運営に任せている。目標達成のための計画実施率 ②健保主体で担当者と委託業者を調整する。目標達成のための計画実施率												-	保健指導対象者の減少(全体)(【実績値】 21% 【目標値】 令和5年度：18.0%)毎月進捗管理している。(4月登録までで検証) ①全体目標値：BP:18.0%、TH:21.0%			
	保健指導実施率(【実績値】 9% 【目標値】 令和5年度：69%)毎月進捗管理している(初回面談実施率)①日産/本人 初回面談実施率 BP:69% TH:59%												-	保健指導対象者の減少(日産)(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：18.0%)毎月進捗管理している。(4月登録までで検証) ②日産本人：BP:18.0%、TH:21.0%			
	保健指導実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：60%)毎月進捗管理している(初回面談実施率)②関連/本人 初回面談実施率 BP:60% TH:50%												-	保健指導対象者の減少(関係)(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：18.0%)毎月進捗管理している。(4月登録までで検証) ③関係会社本人：BP:18.0%、TH:21.0%			
	4	既存	特定保健指導(被扶養者)	全て	男女	40～74	被扶養者	1	オ	ウ	委託業者より案内を送送する	株式会社フィッツプラス	10,000	【目的】 リスクに応じた保健指導を行うことで、限られた予算を有効に使い結果(重症化予防)につなげる 【概要】 ①40歳～74歳/家族 国基準の支援対象者へ保健指導を案内し訪問とICTの選択可能とする ②薬局での保健指導を地域限定で導入する	特定保健指導実施率55%を目標とする。被保険者含めた目標値	効果的な保健事業	
	店舗型面談利用率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：28.3%)②薬局での保健指導を地域限定で導入する												-	保健指導対象者の減少率(【実績値】 7% 【目標値】 令和5年度：6.9%)毎月進捗管理している。(4月登録までで検証)			
保健指導の実施率(【実績値】 3.6% 【目標値】 令和5年度：23.2%)毎月進捗管理している												-					

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者				注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者										
アウトプット指標														アウトカム指標			
1,4	既存		健診時同時初回面談の推進(特定保健指導)	一部の事業所	男女	40～74	被保険者,被扶養者	1	コ	健診センター(メディカル)での実施(家族)	ア,イ,キ	外部委託しない	1,310	【目的】保健指導内容の改正を受けて検診日当日の初回面談を行うことで実施率の向上を狙う 【概要】直営健診センター 初回面談実施率 BP:74%以上 完了率 BP:89%以上	①初回面談実施者数 完了率(動機・積極) BP:89.7%以上	効果的な保健事業	
健診センター 特定保健指導面談実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度:74%)健診センター 特定保健指導 初回面談実施率(動機・積極) BP:74%以上														-			
健診センター 特定保健指導完了率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度:89%)健診センター 特定保健指導 完了率(動機・積極) BP:89.以上														-			
1	既存		保健指導(糖尿病重症化予防)(小)	一部の事業所	男女	40～(上限なし)	基準該当者	1	イ,エ,ク,ケ	血糖が高く通院していないものを受療に導く保健指導を行う。関係会社の本人を対象に、ICTによる保健指導面談と医療機関への受療までのフォローを行う	ア,イ	外部委託しない	6,000	FY20の健診結果でHbA1cが7.0以上でFY20年度内に糖尿病治療を行っていないものを抽出し、遠隔保健指導を行う。血糖測定器(リブレ)を使い日常生活における血糖値変化を体験し治療へと誘導する 今年度実施しない理由:委託先が下りたため。	FY21はFY19と同等の人数で計画する	-	
計画実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度:70%)														治療率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度:50%)指導後の治療率を検証する			
2,5	既存		講演会やセミナー開催	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ケ	直営健診センターで年間計画(9回/年)し、活動のPRや参加者の分析などを行う	ア,ウ,コ	外部委託しない	2,400	【目的】情報提供を通じ話題作りや生活習慣改善へ誘導する。ストレス軽減やメンタル予防にも効果を求める。 【概要】直営健診施設(日産メディカル)にて健康づくりセミナーを年間計画に基づいて開催する。	FY19より月報報告は行わないが年間計画を立て実施する	効果的な保健事業	
計画実施率(【実績値】 100% 【目標値】 令和5年度:90%)計画実施率:90%以上														-			
(アウトカムは設定されていません)																	
保健指導宣伝	5	既存	育児支援	全て	女性	0～(上限なし)	基準該当者	1	ス	初産者へ育児書を毎月送付(1歳になるまで)	ス	専門業者へ委託	株式会社 社会保険出版社	2,100	【目的】初産者への子育て支援 【概要】育児書を送付することで子育ての情報提供と健保との繋がりを継続させる	毎月送付/年(対象者抽出)	質の高いサービス
実施人数(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度:631人)毎月、データを抽出し対象者を送る														-			
(アウトカムは設定されていません)																	
1	既存		データヘルス計画推進システムの構築	全て	男女	0～(上限なし)	その他	1	イ,ウ,キ,ク	①月報、けんこう宅配便(健診結果出力)、ジェネリック通知、事業所用けんこうレポート、組合会資料などで活用する。	ス	必要な人が利用できる環境を整える	株式会社JMDC	3,200	【目的】効果的な保健事業を行うため、保有データを有効活用する分析システムを導入する 【概要】レセプトと健診データ、適用情報など工数をかけずに分析を行う活用率/100%	①活用率/100% ②効果的な分析	効果的な保健事業
活用率(【実績値】 100% 【目標値】 令和5年度:100%)月報、けんこう宅配便(健診結果出力)、ジェネリック通知、事業所用けんこうレポート、組合会資料など														-			
(アウトカムは設定されていません)																	
疾病予防	4	既存	医療費削減プロジェクト_前期高齢者対策	全て	男女	65～74	基準該当者	1	ア,オ	①個別のフィードバックシート「ときめき」発行 ②ときめきの発行を外注化する。	キ	①FY23ときめき発行 ②ときめきの発行を外注化する。	株式会社 社会保険研究所	3,000	【目的】重症化を予知・予防し、入院や高額療養者の抑制をする 【概要】①FY23の健診結果をもとに「ときめき」を発行する。 ②ときめきの発行を外注化する。	65歳以上(事業では60歳を含む)を対象に健診受診勧奨、重症化防止を強化するため重点課題として取り組む。	医療費適正化
前期高齢者対策活動計画実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度:1件)ときめき発行 1件以上														なし(アウトカムは設定されていません)			
3,4	既存		保健指導(糖尿病重症化防止活動_診療所)	母体企業	男女	18～(上限なし)	基準該当者	1	イ,オ,キ,ク,ケ	健診の糖有所見者のうち、各地区診療所で定めたターゲットに対して計画した活動を実施率で管理	ア,イ,ウ,コ	外部委託しない	10,000	【目的】従業員の糖尿病の重症化を防止する 【概要】各地区がターゲットとして選んだ対象者に対して健診前より活動を実施し計画実施率の集計で管理する	産業医指示に対する保健指導の計画実施率 90%	効果的な保健事業	
計画実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度:90%)産業医指示に対する保健指導の計画実施率														-			
(アウトカムは設定されていません)																	

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者			注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢											対象者
アウトプット指標													アウトカム指標				
2,3,4	既存		生活習慣病健診	全て	男女	18～74	被保険者,被扶養者	1	イ,ウ,ケ	カ,キ	①被扶養者の健診実施率は月次報告会で毎月報告を行う ④日産メディカル新規受診者数カウント	ウィーメックス株式会社	323,712	【目的】生活習慣病のリスク測定と、早期発見による重症化防止を図る 【概要】 ①医療機関との直接契約から健診代行業者委託に変更する。(FY18～) ②生活習慣病健診と名称を変え、特定健診項目と女性がん検査を無償化する。(FY19～) ③健診未予約の人を早目にフォローする(健診代行へ移行したことで可能になる) ④日産メディカル 健診の質向上(Webサイト・予約システム改修で申し込み環境の向上、受診促進) 被扶養者(40歳以上):健診率 BP:50%、TH:46%	被扶養者(40歳以上):健診率 BP:50%以上 がん検診実施率の向上(5大がんの検診率は目標値を持たないが集計は行う。)	効果的な保健事業	
胃がん精検受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度:75%)日産本人 胃がん精検受診率 BP:75%、TH:70%													A (アウトカムは設定されていません)				
大腸がん精検受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度:75%)日産本人 大腸がん精検受診率 BP:75%、TH:70%													-				
がん精検受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度:34.5%)関係会社本人 がん精検受診率 BP:34.5%、TH:28.7%													-				
がん精検受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度:39.8%)家族 がん精検受診率 BP:39.8%、TH:34.8%													-				
未受診者フォロー(【実績値】 1回 【目標値】 令和5年度:4回)-													-				
データ欠落フォロー(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度:10回)データ抽出時にエラーチェックを行う													-				
日産メディカル健診の質向上(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度:80%)④日産メディカル 健診の質向上(Webサイト・予約システム改修実施率) BP:80%、TH:60%													-				
健診受診率(【実績値】 51% 【目標値】 令和5年度:50%)被扶養者 BP:50%、TH:46%													-				
3	新規		在宅時健診(新規39歳時)	全て	女性	39～39	被扶養者	1	ウ	ス	神奈川県連合会との共同事業で被保険者の健診実施率向上の対策として実施した	外部委託しない		今年度実施しない理由:予算化していない。	計画実施 1回以上		
計画実施(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度:-回)-													(アウトカムは設定されていません)				
申し込み率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度:-%)-													-				
完遂率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度:-%)-													-				
3	既存		ドック健診	全て	男女	30～74	基準該当者	1	イ,ウ,エ,オ,ケ	キ	①生活習慣病健診と人間ドックを併記して受診案内冊子を対象者へ自宅配布する。HPやメルマガなど啓発活動を行う ②日産メディカル 退職者を含む加入者に格安でドックを提供する	ウィーメックス株式会社	124,906	【目的】早期発見により重症化防止を図る 【概要】①医療機関との直接契約から健診代行業者委託に変更する。(FY18～) ②日産メディカル 健診満足度を測定する BP:85%、TH:80%	早期発見により重症化を防止する	効果的な保健事業	
ドック受診者数(【実績値】 5,067人 【目標値】 令和5年度:4,685人)①受診者数 ・ドック健診 目標値: FY22実績値 4685人													がん精検受診率(全体)(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度:50.0%)全体 BP:50% TH:45%				
胃がん健診受診率(【実績値】 24% 【目標値】 令和5年度:5.6%)5部位の受診率 FY22実績 胃:5.6%													-				
肺がん健診受診率(【実績値】 27% 【目標値】 令和5年度:5.7%)5部位の受診率 FY22実績 肺:5.7%													-				
大腸がん検診受診率(【実績値】 48% 【目標値】 令和5年度:5.6%)5部位の受診率 FY22実績 大腸:5.6%													-				
乳がん検診受診率(【実績値】 25% 【目標値】 令和5年度:4.2%)5部位の受診率 FY22実績 乳:4.2%													-				
子宮がん検診受診率(【実績値】 21% 【目標値】 令和5年度:3.7%)5部位の受診率 FY22実績 子宮:3.7%													-				
日産メディカル 健診満足度(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度:85%)②日産メディカル 健診満足度 BP:85%、TH:80%													-				
3,4	既存		がん検診(職場)	全て	男女	40～(上限なし)	被保険者	1	イ,ウ,ケ	ア,キ,コ	①事業主から請求書と健診実績リストを受け取り、実施数に応じて費用補助を行う。 ②職場巡回バス健診は日時や手続きなど本部主体で行う。	登録されていない事業者に委託する	33,050	【概要】①事業主の定期健康診断で同時に胃がん・大腸がんを行い、一部健診補助を行う。 ②巡回健診でマンモグラフィー、子宮がん検診を職場巡回型で実施する	がんの早期発見により重症化を防止する	効果的な保健事業	
計画実施率(【実績値】 100% 【目標値】 令和5年度:100%)①事業主健診の大腸がん・胃がん(ABC検査)の費用補助計画実施率 ②職場巡回婦人科健診の計画実施率													(アウトカムは設定されていません)				
がん精検受診率(日産本人)(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度:75%)日産本人 BP:75%、TH:70%													-				
がん精検受診率(関係会社本人)(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度:34.5%)関連会社本人 BP:34.5%、TH:28.7%													-				
がん精検受診率(家族)(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度:39.8%)家族 BP:39.8%、TH:34.8%													-				
2,3	既存		33歳人間ドックの無料化	全て	男女	33～33	被保険者	1	イ,ウ,キ,ク,ケ	ア,イ,ウ,ス	・事業主からのアプローチを強化する ・啓発活動を強化する ①日産従業員 ②関係会社	ウィーメックス株式会社	37,724	【目的】(若年層対策)40歳前に健康リテラシーを向上させ、健康の維持・増進・悪化防止のスキームを作る 【概要】33歳の対象者へ人間ドックを無償化する ①日産 母数687人 BP:60% TH:48% ②関係会社 母数487人 BP:45% TH:36%	①日産 母数687人 BP:60% TH:48% ②関係会社 母数487人 BP:45% TH:36%	効果的な保健事業	

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者				注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者										
アウトプット指標													アウトカム指標				
①33歳ドック受診者率 日産(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：60%)④日産 母数687人 BP:60% TH:48%													-				
②33歳ドック受診者率 関係会社(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：45%)②関係会社 母数487人 BP:45% TH:36%													-				
4	新規	■33歳人間ドック後の保健指導	全て	男女	33～33	基準該当者	1	エ	33歳時の人間ドック受診の結果に基づいてICTの保健指導を行う。	ス	人間ドック受診後データを把握し、特保同等の保健指導を業者委託する	外部委託しない	4,100	【目的】 40歳になって特保対象になる前にリスク者に気づきを与え、生活習慣改善を促す。 【概要】 33歳時の人間ドック受診の結果に基づいてICTの保健指導を行う。 今年度実施しない理由：-	該当者の保健指導実施率 20%	-	
保健指導該当者率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：20%)該当者の保健指導該当者 20%													40歳未満のため、健診データが揃っていない。 (アウトカムは設定されていません)				
保健指導実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：10%)該当者の保健指導実施率 10%													-				
1	新規	がんリスク検査(アミノインデックス)	全て	男女	30～(上限なし)	被保険者	1	ウ	-	ス	-	外部委託しない	-	がんの早期発見を目的として、血液検査でリスク判定できる施策の導入を検討する。 今年度実施しない理由：例年計画として持っていたが、今後は計画しないことも検討する	今年度中の導入を目指す	-	
計画実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：1回)-													-				
-													(アウトカムは設定されていません)				
3,4	新規	ピロリ菌除菌率	母体企業	男女	18～(上限なし)	被保険者	1	ウ	①日産診療所 ピロリ菌除菌率 ②日産メディカル 従業員ピロリ菌除菌(胃カメラ)者数	イ	②除菌胃カメラ枠を拡大する。 また、日産診療所と連携し従業員が受診しやすい環境を提供する。さらに除菌後の滅菌確認も行う	外部委託しない	-	今年度実施しない理由：ピロリ菌の除菌補助を行って数年経つが、新規保菌者が少なくなったので補助事業を見合わせる。	①日産診療所 ピロリ菌除菌率 C:50% T:70% ②日産メディカル 胃カメラ枠充足率 C:34% T:50%	-	
診療所 ピロリ菌除菌率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：-%)③日産診療所 ピロリ菌除菌率 C:50% T:70%													-				
日産メディカル 胃カメラ充足率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：-%)②日産メディカル 胃カメラ枠充足率 C:34% T:50%													-				
3,4	既存	がん精検受診率	全て	男女	18～(上限なし)	基準該当者	1	イ,ウ,エ,オ,シ	②日産本人 胃・大腸精検者を診療所でフォローし管理する。 ③関連会社 胃・大腸精検者を一部費用補助し要所見者を報告してもらうことでレセプトと突合し管理する。 ④家族 健診機関から結果を入手しレセプトと突合することで管理する。	ア,イ,キ	②③④を分類し担当グループで管理する	外部委託しない	4,100	【目的】 健診後フォロー 精検受診率を追い、未治療者をフォローし治療につなげ重症化を防止する 【概要】 有所見者の未治療者(医療)を追いアプローチする ①全体 精検受診率 BP:45%、TH:35% ②日産本人 胃・大腸精検者 BP:70%、TH:60% ③関連会社 精検受診率 BP:33.7%、TH:28.7% ④家族 5部位がん精検受診率 BP:53.6%、TH:48.6%	①全体 精検受診率 BP:45%、TH:35% ②日産本人 胃・大腸精検者 BP:75%、TH:70% ③関連会社 精検受診率 BP:34.5%、TH:28.7% ④家族 精検受診率 BP:39.8%、TH:34.8%	効果的な保健事業	
がん精検受診率(全体)(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：45%)①全体 精検受診率 BP:45%、TH:35%													がん重症化防止(患者当たり医療費)(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：918,093円)令和4年度：891,352円×医療費推移(+3%増)=918,093				
胃がん精検受診率(日産本人)(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：75%)②日産本人 胃がん精検受診率 BP:75%、TH:70%													がん重症化防止(人数)(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：2,658人)令和4年度：2658人				
大腸がん精検受診率(日産本人)(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：75%)②日産本人 大腸がん精検受診率 BP:75%、TH:70%													1件当たり受療日数(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：1.62日)令和4年度：1.62日				
がん精検受診率(関係会社)(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：34.5%)③関連会社 がん精検受診率 BP:34.5%、TH:28.7%													-				
がん精検受診率(家族)(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：39.8%)④家族 精検受診率 BP:39.8%、TH:34.8%													-				
3,4	既存	歯科健診の促進	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	イ,ウ,ク,シ	①2回/年 口腔検査・歯石除去の費用補助 ②職場出張健診の費用補助 ③スクリーニング調査票を回収し評価書を提供する ④②および③実績者の通院率	ア,キ,コ	①無料健診の利用者を増やす ②事業所で健診時に出張歯科健診を行う。 ③事業所で健診時に歯科スクリーニング検査(紙面アンケート調査)を導入して歯科健診へ行動変容を促す ④受診勧奨者へのフォローを行う	株式会社ハミエル	32,450	【目的】 早期発見、早期治療により重症化を防止し医療費の抑制を図る 【概要】 ①無料健診の利用者を増やす。 ②事業所で健診時に出張歯科健診を行う ③事業所で健診時に歯科スクリーニング検査を導入して歯科健診へ行動変容を促す ④レセプトでの歯科メンテナンス者把握	早期発見・早期治療により重症化を防止し医療費抑制につなげる	効果的な保健事業	
歯科健診実施者数(【実績値】 8,240人 【目標値】 令和5年度：2,349人)①と②の合計 歯科健診実施者数 前年実績を目標値とする													歯科メンテナンス受療率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：38.86%)④歯科健診結果(受診勧奨率)レセプトより算出する FY22実績 38.86%				
スクリーニング実施者数(【実績値】 4,163人 【目標値】 令和5年度：6,874人)前年実績を目標値とする 418													メンテナンス受診日数(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：3.90日)受療者一人当たり受診日数 FY22実績 3.90日				

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者			注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢											対象者
アウトプット指標													アウトカム指標				
1,2,5	既存		シニア体力測定	全て	男女	50～(上限なし)	被保険者, 基準該当者	1	オ,キ,ケ,シ	ア	事業主の協力を得て50歳以上の従業員に体力測定を行う。	登録されていない事業者に委託する	1,000	【目的】 年齢による体力の衰えを体感し生活習慣に役立てる 【概要】 50歳以上の従業員に2種の体力測定を行い、自分が意識している身体能力と測定値の差を認識することで生活習慣の改善に役立てる	職場での転倒リスクの回避や日々の生活習慣改善(運動習慣)への行動変容につなげる	効果的な保健事業	
参加事業所数(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度: 3事業所)-													-				
参加者数(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度: 1,000人)@1000円で予算値から推計													-				
5,6	既存		電話相談(健康相談&メンタル相談)	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	エ,ス	ス	国内や海外勤務者の医療相談やメンタル疾患の患者本人・家族・その他関係者等の不安解消と疾病の重症化防止、また育児支援を目的とした窓口を24Hフリーダイヤルで受け付ける	株式会社保健同人フロンティア	4,950	【目的】 緊急時や困り事の相談を行うことにより不安解消を図る 【概要】 国内や海外勤務者の医療相談やメンタル疾患の患者本人・家族・その他関係者等の不安解消と疾病の重症化防止、また育児支援を目的とした窓口を24Hフリーダイヤルで受け付ける	緊急時や困りごとの相談を行うことにより不安解消を図り、医療費の健全化につなげる	質の高いサービス	
利用件数(【実績値】 701件 【目標値】 令和5年度: 663件)利用件数 前年実績を目標とする													-				
-													(アウトカムは設定されていません)				
5,6	既存		メンタルヘルス支援	全て	男女	0～(上限なし)	被保険者	3	エ,ス	ス	電話相談や面談支援を行う窓口を設置(同一人物の利用は5回までと制限している)	外部委託しない	2,475	【目的】 メンタル疾患の患者本人・家族・その他関係者等の不安解消と疾病の重症化防止 【概要】 電話相談や面談支援を行う窓口を設置(同一人物の利用は5回までと制限している) 今年度実施しない理由: 電話相談(項目23)に含める	メンタル疾患の患者本人・家族・その他関係者等の不安解消と疾病の重症化防止	-	
利用件数(【実績値】 0.4件 【目標値】 令和5年度: 220件)利用件数 前年実績を目標とする													-				
-													(アウトカムは設定されていません)				
7	既存		ジェネリックの利用促進	全て	男女	0～(上限なし)	基準該当者	1	キ,ス	ス	①差額通知年2回 ②高齢受給者証発行時に希望シールを同封 ③新規加入者へ健保ガイド ④新規加入者の被保険者証に希望シールを貼付	外注化によりシステムチックに発送する	株式会社JMDC	2,500	【目的】 調剤費の抑制を行い医療費の適正化を図る 【概要】 ①差額通知 年2回 ②高齢受給者証発行時に希望シールを同封 ③新規加入者へ健保ガイド ④新規加入者の被保険者証に希望シールを貼付	2回/年 実施状況: 1回目: 4,334件 (R5/7月送付) 2回目: 4,450件 (R6/2月送付) ※抽出条件: 新薬から後発医薬品に切り替えること500円以上の差額が生じる方。(PepUp登録者等は除外) 成功・推進要因: 対象者の抽出あたり、前回の対象者と重複しないように選定 課題および阻害要因: ジェネリック医薬品の割合は高止まりしており、利用促進通知の効果も限定的と考える。また、ジェネリック薬品の流通量が充分ではなかったため。	医療費適正化
ジェネリック利用率(【実績値】 73% 【目標値】 令和5年度: 82.4%)ジェネリック利用率: 前年以上を目標とする													-				
-													(アウトカムは設定されていません)				
4,5,6	既存		健康相談(クリンタル)	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	エ	ウ,キ	けんぽホームページからまたはPepUpサイトから参加可能	登録されていない事業者に委託する	7,600	アプリとウェブサイトで利用できる「看護師との健康相談チャット」および「医師紹介サービス」 FY20より継続	利用件数 前年以上	質の高いサービス	
利用件数(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度: 1,242件)FY21利用件数 1242件													-				
-													(アウトカムは設定されていません)				
4	新規		ポリファーマ規シール対策	全て	男女	0～(上限なし)	基準該当者	1	ク	ウ	対象者を抽出し注意喚起の案内を自宅配布する	専門事業者との連携により対象者を抽出する	株式会社メディアラート	14,000	対象者を抽出し注意喚起の案内を自宅配布する FY21トライアルを踏まえて対象者を前期高齢者から全体へと拡大し年1回以上実施	計画実施率	効果的な保健事業
計画実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度: 100%)FY22対象者を拡大し1回以上実施 1回→100%													-				
-													医療費低減効果(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度: 2,370,000円)事業前と事業後で効果検証(医療費低減費)する				

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者				注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者											
アウトプット指標														アウトカム指標				
4	既存		重症化予防(入院・再発の未然防止)	全て	男女	18～(上限なし)	基準該当者	1	イ,キ,ク,ケ	定めた基準該当者を抽出しかかりつけ医の承諾を得て生活習慣改善指導を行い、リスクの改善を測定する	ア	対象者抽出は内製で行い、事業所の協力を得て対象者へアプローチし、活動受諾者は外注業者へ連絡して、専門職による保健指導および主治医との連携を経て生活習慣改善を促す。	株式会社PREVENT、株式会社PREVENT	18,000	FY21の健診結果で対象者抽出を行い、事業所と連携して活動参加の連絡を行う。通院者で既往歴のあるもの(再発防止)やハイリスク者(重症化防止)を抽出する。保健指導は外注業者へ委託する。活動後の数値変化や通院状況等継続して追っていく。	保健指導のスキームは委託業者が行うが、案内文章や参加方法など知恵を出して参加率向上をめざす。また、対象者抽出は内製で行い費用低減を図る	効果的な保健事業	
参加率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：10%)プログラム参加者率 BP:10%、TH:5%														-				
(アウトカムは設定されていません)																		
8	新規		ライフイベント支援活動	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者	1	ケ	未婚者同志の出会いの場の提供として業者を使ってイベントを開催する。	ス	告知アイテムとして、PepUp、メルマガ、ホームページ、事業主メルマガ、社内イントラなど活用する。	外部委託しない		FY21はトライルに位置付ける。年度内1回以上計画する。 今年度実施しない理由：コロナ禍で見送り	計画実施率：年度内1回以上		
計画実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：100%)年1回以上														-				
(アウトカムは設定されていません)																		
5	新規		若年層の健康増進活動	全て	男女	18～39	被保険者	1	エ,キ,ク,ケ	eラーニングを作成し若年層に健康教育を行う。各地区毎に行っていた保健指導と統一プログラム化し、全地区共通の内容で若年層に向けた健康増進活動を実施し、3か月後、6か月後にアンケート評価を行う。	ア,イ	事業主との連携の他、診療所間での連携を行う。	外部委託しない	13,000	日産診療所のスタッフ(専門職)がプロジェクトチームを作り、健康情報のeラーニングを作成する。40歳以下の若年層のヘルスリテラシーの向上を狙い社内イントラのeラーニングシステムにUPし、eラーニングを実施。eラーニング対応できない対象者に対しても職場でのDVD等による教育を実施した。	計画実施率 教育の実施とフォロー、後日アンケート回収を行う BP:95%、TH:90%	効果的な保健事業	
計画実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：95%)-														-				
(アウトカムは設定されていません)																		
8	新規		データの有効活用	全て	男女	0～(上限なし)	基準該当者	1	ス	重症化予防の対象者選定や効果検証等で専門的な分析が必要な時に活用する	ス	必要な時点で体制を整え検討する	株式会社メディアアート	1,182	保健事業に関わる、データを活用した分析の依頼 ロコモ測定データとレセプトおよび健診データを突合し転倒や筋力低下などからなる労働災害の防止に役立てる	より効果的な保健事業を行うためのデータ分析を行う	効果的な保健事業	
計画実施率(【実績値】-% 【目標値】 令和5年度：100%)-														-				
2	新規		セルフメディケーションの推進	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	キ,ケ	セルフメディケーションの利用推進を目的とし、様々な機会を活用した周知・広報の実施	ス	アレルギー疾患(花粉症)でOTC医薬品にスイッチできる対象者を抽出し個別通知を発送	ホワイトヘルスケア株式会社	8,114	セルフメディケーションについて広く広報を行う。また、メルマガや個別勧奨通知にクーポン券を付与し、利用促進の動機付けをする。	広報活動 年8回以上実施 【計画値/実績値】 令和5年度 8回/9回(メルマガ配信7回、かわら版発行1回、個別勧奨通知発送1回(1,053通)【達成度】112.5%	医療費適正化	
計画実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：100%)セルフメディケーションの利用促進を目的とした後方計画の完了														-				
(アウトカムは設定されていません)																		
体育奨励	5	既存	健康作り支援(スポーツジム契約)	全て	男女	0～(上限なし)	基準該当者	1	ア,ス	スポーツジムと法人契約を結び利用者の負担軽減を図る	ス	法人契約しているスポーツジムから加入者情報(利用状況)を報告してもらいPepポイント付与(インセンティブ)に繋げる	登録されていない事業者に委託する	5,858	【目的】自主的に運動習慣を身に付け健康の維持向上を支援する 【概要】ジム契約者にはPepポイントを付与して利用促進を図る	自主的に運動習慣を身に付け健康の維持向上を支援する	効果的な保健事業	
	ジム利用者数(延べ人数)(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：3,488人)前年比較 前年はコロナ禍での利用者減のため目標は前年以上とする。														健康年齢わかさ率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：69%)FY22 66.8% FY23目標 BP:69%、TH:66%			
	-														運動習慣ありの割合(本人)(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：26.6%)FY22 26.6%			
	-														運動習慣ありの割合(家族)(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：27.8%)FY22 27.8%			
5	新規		オンラインジム	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	1	エ	コロナ禍でジム利用者が減っているため、オンラインジムを開催する	ス	Web上のジム(オンラインジム)を計画する。専門業者と連携して効果的なイベントを開催する	登録されていない事業者に委託する	2,000	【目的】自主的に運動習慣を身に付け健康の維持向上を支援する 【概要】Web上のジム(オンラインジム)を計画する。専門業者と連携して効果的なイベントを開催する	オンラインジムを計画し、自宅でも運動ができる環境を作る。	質の高いサービス	
実施者数(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：1,111人)実施者数(前年実績 延べ人数) 前年度実績以上														-				
(アウトカムは設定されていません)																		

予算科目	注1)事業分類	新規既存	注2)事業名	対象者			注3)実施主体	注4)プロセス分類	実施方法	注5)ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢											対象者
アウトプット指標																	
アウトカム指標																	
直営保養所	8	既存	福利厚生(直営保養所・外部リゾート施設契約)	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員,任意継続者,その他	1	ス	①直営保養所 2カ所(直営と委託運営) ②法人契約施設 2社 ③その他契約施設(宿泊施設やレジャー施設など法人契約 40カ所)	ス	①②専任の部門があり管理している	外部委託しない	0	【目的】安価に利用可能な施設を保有することで、従業員および家族とOBにも心のリフレッシュを提供する 【概要】①直営保養所 2施設 ②契約施設 法人契約 2社 ③そのほか宿泊施設やレジャー施設など法人個別契約40カ所以上	安価に利用可能な施設を保有することで、従業員および家族とOBに心のリフレッシュを提供する。 ①は事業所の研修や保健事業の施設提供などでも利用可能	質の高いサービス
利用数(【実績値】75人 【目標値】令和5年度:8,512人)①直営保養所の利用者数												-					
利用数(【実績値】100人 【目標値】令和5年度:6,851人)②契約施設(法人契約) リゾートトラスト 利用者数												-					
利用数(【実績値】100人 【目標値】令和5年度:2,316人)②契約施設(法人契約) 泉郷 利用者数												-					
その他	8	既存	安心して治療に専念できる環境づくり(付加給付の充実)	全て	男女	0～(上限なし)	基準該当者	1	ス	①付加給付の充実 ②休業補償の補てん ③休業期間の延長	ス	-	外部委託しない	0	【目的】安心して治療に専念できる環境づくり 【概要】①付加給付金の充実 ②休業補償の補てん ③休業補償期間の延長	健全な運営の構築 ①付加給付金の充実 ②休業補償の補てん ③休業補償期間の延長	質の高いサービス
付加給付金支給率(【実績値】100% 【目標値】令和5年度:100%)適正な不可給付金支給率												-					
(アウトカムは設定されていません)																	
予算措置なし	8	既存	利用者の満足度向上(3事業)	全て	男女	0～(上限なし)	基準該当者	1	ス	①日産診療所利用者満足度調査 ②日産メディカル(健診センター)利用者満足度調査 ③保養所利用者満足度調査	ス	①日産診療所 ②日産メディカル ③保養所	外部委託しない	0	目的)3つの事業における満足度を調査しそれぞれの目標と合計満足度を管理する 【概要】満足度5段階評価の5点のみ評価(5非常に満足) 全体満足度 ①日産診療所利用者満足度 ②日産メディカル(健診センター)満足度 ③保養所利用者満足度	全体満足度 BP:85%、TH:80% ①診療所 BP:85%、TH:80% ②メディカル BP:85%、TH:80% ③保養所 BP:90%、TH:83%	質の高いサービス
お客様総合満足度(5点満点の率)(【実績値】82% 【目標値】令和5年度:85%)お客様総合満足度(5点満点の率):BP:85%、TH:80%												-					
(アウトカムは設定されていません)																	
診療所利用者満足度(【実績値】- 【目標値】令和5年度:85%)①診療所 BP:85%、TH:80%												-					
日産メディカル利用者総合満足度(【実績値】- 【目標値】令和5年度:85%)②メディカル BP:85%、TH:80%												-					
日産メディカル健診満足度(【実績値】- 【目標値】令和5年度:80%)②メディカル BP:80%、TH:75%												-					
保養荘お客様満足度(【実績値】- 【目標値】令和5年度:90%)③保養所 BP:90%、TH:83%												-					
8	既存	医療費貢献ポイント(保健事業活動の効果検証)	全て	男女	0～(上限なし)	その他	1	キ	保健事業の効果検証を行う指標として作成されたツールで、効果レベルとコスト、参加人数により貢献金額を算出して目標値の達成を目指す。	ス	健保中計でグループ毎の目標値が定められ、医療費貢献ポイントの会議体を用いて申請と承認を得てポイント計算を行う。	外部委託しない	-	今年度実施しない理由:効果指標について疑義が生じたため	日産健保の事業改善活動の推進 指標→医療費貢献ポイントとは、「貢献金額指標(保健事業の価値)÷(利用者一人当たりの健保予算負担額)」	-	
ポイント増加率(【実績値】- 【目標値】令和5年度:-%)前年ポイント(19年獲得ポイント) BP:10%増 TH:5%増												-					
(アウトカムは設定されていません)																	

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 事業名の後に「*」がついている事業は共同事業を指しています。

注3) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注4) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用(情報作成又は情報提供でのICT活用など) オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施

キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注5) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築(産業医・産業保健師を除く) エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築 ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) サ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) シ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) ス. その他